

これからの地域づくり

令和元年11月22日（金）

西条市 市民生活部 市民協働推進課



そもそも、地域づくりとは？

- 地域の暮らしを良くする
- 地域の暮らしを支える
- 地域の困りごとを解決する
- 地域の大切なものを守る

なぜ今、 地域づくりなのか

2

地域づくりの必要性

□多様化・複雑化する地域の課題

- 隣近所を見渡してみても、地域の暮らしに難しい課題が増えてきた。
- 地域を維持していくことが難しくなっている。

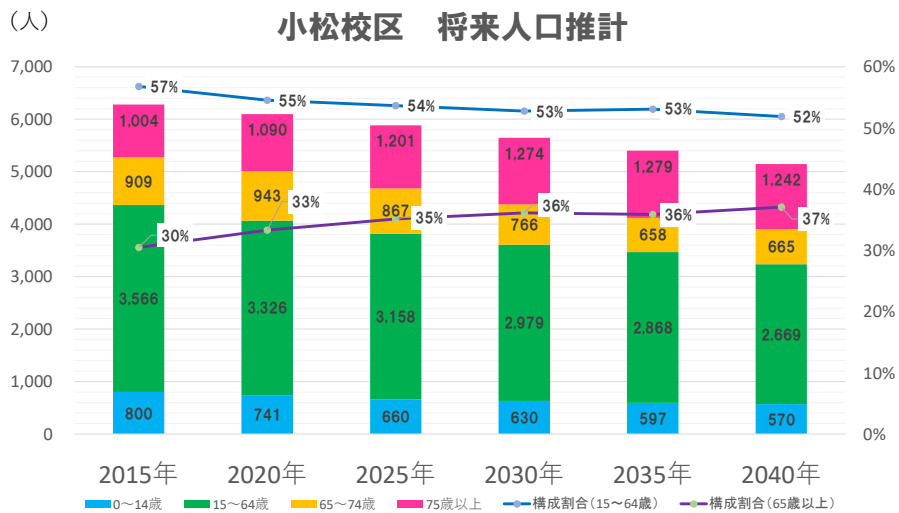
3

背景

高齢化・人口急減

4

2040年には人口が約2割（1,000人）減少



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
人口	6,279	6,100	5,885	5,648	5,402	5,147
指数	1.0000	0.9715	0.9373	0.8995	0.8603	0.8197

5

多様化・複雑化する地域課題

社会環境等の変化 人口急減・少子高齢化

価値観・ライフスタイルの多様化

家族形態の個人化・多様化

人間関係の希薄化

つながり・地域力の低下

あなたの地域でこんなこと
ありませんか

子どもや若者が減

隣のおうち、お年

行政だけでは対応（解決）できない課題

い、少子化対策は来世に
しんどいよ

ハゲ少子化が進ん
た。隣の人、顔見る機
会減ったけど大丈夫？

倒壊や景観の悪化、放
火など防犯面も心配…



地域のチカラが求められる

6

地域力がなければ
解決できない

地域づくりの必要性

7

地域の力がなければ解決できない。

地域づくりは必要。

一方で・・・

①人口減少・少子高齢化

②地域課題は多様化・複雑化

やらなければいけないことは・・・

増える！

これまで、当たり前前にできていたことが・・・

難しくなる！

8

これまで、当たり前前にできていたことが、
できなくなっていく状況の中で、

これまで通りのやり方を続けていくことは
難しく（できなく）なっている。

地域にとって、

- ・ 本当に必要なこと
- ・ 大切にしたいこと
- ・ ずっと残していきたいもの

何をやめて、何に力を入れていくか

9

人口減少時代の地域づくり

役の担い手を探す



役の数を減らす（役を整理す）

➤今まで通りのやり方をしていては
暮らしを維持していくことはできない

10

今後、必要な視点は

「狭域自治（単位自治会・組・班）」

と

「広域自治（概ね小学校区等）」

の使い分け

これからの時代に即した

持続可能な地域コミュニティの構築

11

自己完結することの限界

〇〇〇だけでは、解決できない



これからの時代の
キーワードは

連携 ・ **協働**

12

小松地区の取組状況

13

小松校区での地域づくりのきっかけ

平成30年2月20日開催

タウンミーティング

テーマ『子育てしやすいまちづくり』

子育てしやすいまちづくりに向けて、
どのように取り組むべきかについて意見交換
を実施。

14

タウンミーティングの話し合いの内容

【市への要望】

- ①夜間救急搬送可能な小児科医、産科医がない
- ②通学路の倒壊の恐れのある空き家
道路標示について など

【一方、地域の課題・地域で必要なこと】

- ①挨拶
(小学生は◎、中学校↓、高校↓↓)
- ②世代間交流の拡大
- ③団体同士の活動や課題が分からない
横の連携が必要

⇒ 継続した話し合い必要性が高まる

15

小松地域づくりのスタート

平成30年12月18日開催

参加者
15名

地域づくり懇談会

テーマ『これらの地域づくりについて』

【メンバー：前回のタウンミーティング出席者】

- 小松地域愛護班連絡協議会
- 小松小・中学校PTA
- 小松小・中学校PTAおやじ部
- 小松地区婦人会
- 消防団小松分団
- 小松地区民生児童委員協議会
- 西条市連合自治会小松支部(小松地区役員)
- 西条市(小松公民館、市民協働推進課、小松総合支所総務課)

16

平成31年3月14日開催

地域づくり講演会

テーマ『実践に学ぶ

これらの地域づくりへのヒント』

参加者
約30名



17

平成31年4月24日開催

地域づくり意見交換会

参加者
21名

テーマ『小松の地域課題・
地域づくりに関わってほしい人』



地域づくりの進め方を考える 作戦会議がスタート

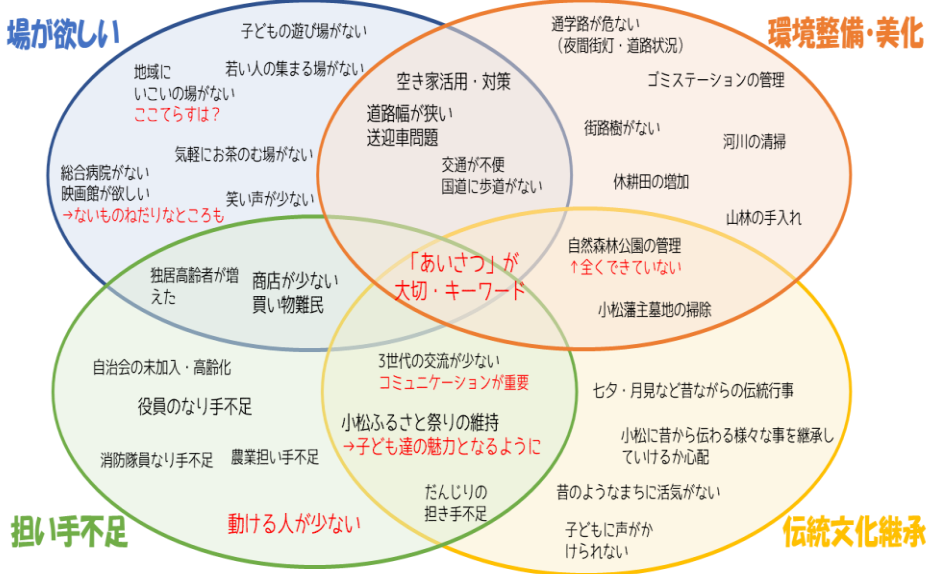
令和元年6月～ 毎月実施

- ・意見交換会で出た地域課題の整理
- ・今後の進め方について
- ・地域づくり検討会(仮称)について

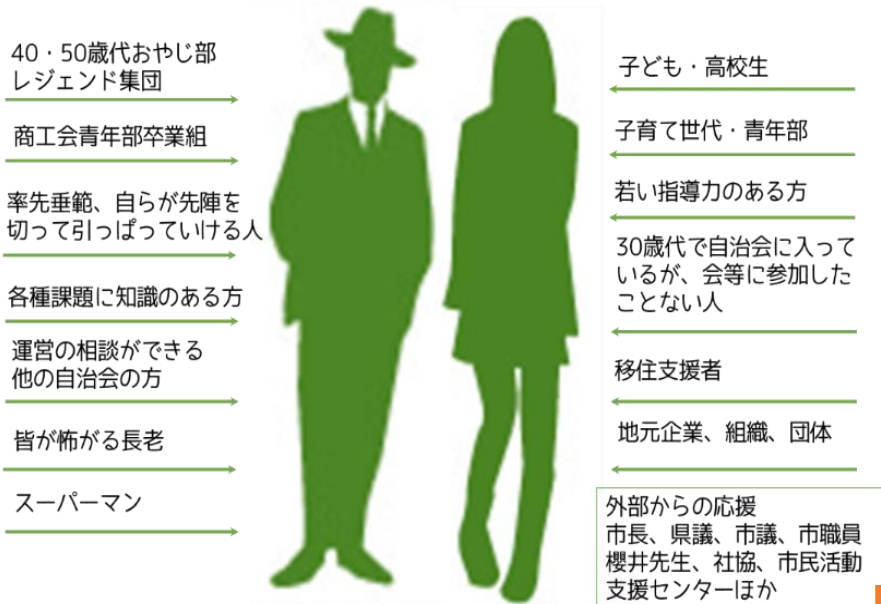
参加者
10名



4/24 小松地区意見交換会 課題まとめ (簡易図示化) 6/19赤文字追加



4/24 小松地区意見交換会 地域づくりに関わってほしいひと



目標・どうしていけばよいか

場が欲しい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にたくさんある地域の場を上手く活用して3世代交流をする ・場に参加できないひとが一步踏み出せる環境をつくる(ネット上でもかまわない)
環境整備・美化	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する人が楽しんでやってもらえる工夫をして地域の宝を残していく。主催側も楽しまない。 ・一度活動を辞めてしまったら再び始めるのは大変。必要なことは縮小しても続けるべき
担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連動させ、地域のことを知ってもらいながら地域課題に関わってもらうところからはじめては ・地域には知られていない貴重な場所が多くある。ただ知っている人は地域にまだいるはず。 ・地域でできることは多いし、出来る人も多い。お願いする側もお願い上手になる必要 ・「ありがとう」は大事な言葉
伝統文化継承	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝を伝えていく ・多団体で考える

22

4回の作戦会議を通じて

小松地域づくりのキーワード

- ・今あるものを生かす。
- ・各種団体が連携する。

- ・ 方向性 を定め、取組む
- ・ 各種団体を つなぐ 存在 が必要

23

地域づくりを \ 考える / \ 盛りあげる /
地域づくり組織（企画部隊）の設置

りっしたい
立志隊 が発足

～「100年安心して暮らせる小松」の実現～

役割

- ・コミュニティの現状及び課題に関すること
- ・地域づくり計画（地域未来ビジョン）に関すること
- ・課題解決に向けた方策に関すること

24

本日のタウンミーティング

自己紹介

- ①所属する団体
- ②名前
- ③小松の好きなところ、
これからも大切にしたい、
守っていききたいもの

25

話し合いのテーマ

- ◆それらを「伸ばしていく」、
「守っていく」、「残していく」ために、
どのようにしていけばいいですか？
- ◆また、それに向けた課題はなんですか？
 - ・団体の課題・悩み、連携・協働の可能性
 - ・これが足りない、これからはこれが必要